

SEMINAR HOUSE NEWS

セミナーハウス・ニュース

No.175

2008年11月発行

財団法人 大学セミナーハウス 〒192-0372 東京都八王子市下柚木1987-1 TEL.042-676-8511 FAX.042-676-1220

<http://www.seminarhouse.or.jp>



巻頭言

「学生の学士力、 大学人の財務力」

評議員会議長 佐野 博敏

大学セミナーハウスでの夜中の学生との盛り上がりでお叱りを受けた毎年の新入生歓迎や、紛争・改革の時代の参加・討論など、お客としての思い出も懐かしい。

当時は耳にしなかった「学士力」の保証の声が最近では国や経済界から聞こえる。「運転免許力」ほどではないにしても国際化時代では領けるが、わが国の学士の大半を担う私学財務の9割以上が学生納付金依存なのに、学士力格差に密接な大学間の財務力格差はあまり語られない。

企業関係者からのご批判のように、大学教員の財務感覚欠如はわが国の通弊で、各種第三者評価機関でも財務について大学人は評価を避ける傾向があるが、財源無視のままの政策論議で投票決定をするような危惧を覚える。

他方で、企業原理の視点だけでは解決できない現実もあるので、その下世話な側面だけでもご紹介しておこう。

規制緩和が進んだとはいえ、学校運営には文科省のほか資格の関係する厚労省などによる規制がある。その規制は、公教育という立場からか、公費補助が50～70%の国公立大学と僅か数%の私学という「不平等」の財務格差があっても、同じ法令等で「公平に」規制されている。

企業ではヒット商品を開発すれば、その大增産で利潤を大量蓄積し、次の展開に準備できる。学校はヒット教育法で有名になっても、当該学部学科定員増での学生納付金での大儲けは難しい。厚労省関係の栄養士、保育士、介護福祉士などの入学定員は1名超過も許されないから、学則改正で納付金値上げ予告か寄付を仰ぐくらいである。

他方、定員を割り込むと国庫補助金停止の憂き目に遭う。要するに、「儲けることはできないが、定員割れで損することはご勝手に」なのである。ちなみに地方私学などの定員割れは、定員減申請をして見かけ上の定員割れ隠しもできるから、実情は公開資料よりも深刻である。

その定員割れの場合、企業では人員整理で収支バランスをとるのが常套手段であるが、学科編成に必要な教員数は学生数に比例していないから、たとえば200名学生定員の学科に必要な教員が10名の場合、学生が100名に半減できても教員減は1～2名しか許されない。小学校のように教員が「全科担当」ならば1名でも許されようが、大学では、たった1名の学生にでも10名くらいの教員が必要となる高等教育の宿命・責務であろう。

絶対評価で学士力を維持するには絞り込みが必要で、入学者の入口規制か、在学生定員を守れば学年進行での学生数減を伴い、学生納付金に全面的に依存する私学運営では同時に人件費としての教員数削減なしには難しい。

ご存知の学校法人会計基準3原則、真実性、明瞭性、継続性の「永続性」にも、本義に反し旧弊の改革を拒む「前例踏襲」を生む反面がある。改革に必須の財務への教員の無関心もあり従来のFDでも議論されなかった。

筆者が経営に参画させて戴いたセミナーハウスでも、各種活動とは雲泥に乖離した規範軽視の旧弊、慣行などが厳存し、そのソフト面の改革が、ハード面の老朽化以上に怖い急務であった。それらの紹介にはなお時日の許しが必要だろうし、紙数も尽きた。それらを含めセミナーハウスで学んだ運営と財務の実学的FDは、教学面の改善発展やその他の私学の健全運営に役立った。感謝申し上げます。

●佐野 博敏(さの ひろとし)プロフィール

大妻学院 理事長

専門：無機物理化学、化学教育

略歴：1945年 広島県立広島第二中学校卒業
1948年 広島工業専門学校卒業
1953年 東京大学理学部化学科卒業
1956～63年 東京大学理学部化学科助手
1959年 理学博士(東京大学)
1963～72年 お茶の水女子大学理学部助教授
1972～89年 東京都立大学理学部教授
1989～93年 東京都立大学総長
1995～2000年 大妻女子大学社会情報学部教授
2000～08年 大妻女子大学学長
2003年～ 大妻学院理事長

1989年大学セミナーハウス理事 1990年常務理事 1995～2000年理事長

1998～2000年館長・理事長 2000～02年常務理事 2002年～顧問

社会活動：日本化学会員 日本放射化学会名誉会員

受賞：日本化学会賞(1988年) 日本放射化学会賞「木村賞」(2001年)

第118回理事会・第95回評議員会

実施日：平成20年5月22日(木)
場所：アルカディア市ヶ谷(私学会館)

『理事会』

出席者7名、書面による出席者14名、合計21名

『評議員会』

出席者6名、書面による出席者37名、合計43名

次期の「理事・評議員および監事」の選任が行われた。また「平成19年度事業報告」及び「平成19年度一般会計収支決算」について審議が為され、いずれも原案通り承認されました。

主な協議事項及び報告事項は次の通りです。

◎報告事項

①平成20年度利用状況について ②主催セミナーの実施状況について ③敷地造成事業の状況について 等の業務報告がなされました。

◎協議事項

①平成19年度事業報告・平成19年度一般会計収支決算について原案通り承認されました。

収支計算書は、別表の通りです。

なお、宿泊利用者数は、35,085名で前年度に比べて5,801名増加いたしました。

②評議員60名の就任が承認されました。

③理事20名及び監事3名が選任されました。

④理事長 佐藤東洋士、館長 荻上紘一、専務理事 堂信一が予選され、6月1日をもって選任されることが承認されました。

新役員について

(任期は、平成20年6月1日より平成22年5月31日まで)

理事長 佐藤 東洋士 桜美林大学 理事長・学長

館長 荻上 紘一 大学評価・学位授与機構 教授

専務理事 堂 信一 大学セミナーハウス 専務理事

常務理事 奥島 孝康 早稲田大学法学院法務研究科 教授

後藤 祥子 日本女子大学 学長

佐藤 保 学校法人二松学舎 顧問

平成19年度収支計算書 総括表

(平成19年4月1日～平成20年3月31日) 単位:円

科 目	決算額	科 目	決算額
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
①基本財産利息収入	7,667	①事業費支出	126,275,279
②会費収入	53,400,000	人件費	41,790,487
③一般事業収入	289,824,040	一般事業費	81,268,505
宿泊収入	137,559,405	セミナー事業費	3,216,287
施設収入	26,780,784	②食堂事業費	77,089,306
造成事業特別収入	125,483,851	食堂事業直接費	37,837,260
④食堂事業収入	76,992,983	人件費	31,240,132
⑤留学生会館収入	13,212,500	食堂事業間接費	8,011,914
⑥セミナー会費収入	6,712,266	③管理費	54,055,960
⑦補助金等収入	1,806,000	人件費	16,516,026
⑧寄付金収入	1,278,900	施設管理費	23,379,771
⑨雑収入	7,838,130	一般管理費	14,160,163
事業活動収入計	451,072,486	事業活動支出計	257,420,545
事業活動収支差額	193,651,941		
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
①固定資産売却収入	0	①特定資産取得支出	6,000,000
		②固定資産取得支出	157,266,322
投資活動収入計	0	投資活動支出計	163,266,322
投資活動収支差額	-163,266,322		
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
①借入金収入	0	①借入金返済支出	25,656,461
財務活動収入計	0	財務活動支出計	25,656,461
財務活動収支差額	-25,656,461		
当期収入合計	451,072,486	当期支出合計	446,343,328
当期収支差額	4,729,158		
前期繰越収支差額	55,402,771	次期繰越収支差額	60,131,929

理事

鈴木 典比古 国際基督教大学 学長
鈴木 康司 財団法人日仏会館 副理事長
程島 俊介 社団法人学術・文化・産業 常務理事
鷺山 恭彦 東京学芸大学 学長
黒須 隆一 八王子市 市長
光田 明正 桜美林大学孔子学院 学院長
村上 陽一郎 国際基督教大学 大学院教授

監事

山本 眞一 広島大学 教授
安西 祐一郎 慶應義塾 塾長
永井 和之 中央大学 総長・学長
小宮山 宏 東京大学 総長
増田 壽男 法政大学 総長
大橋 英五 立教大学 総長
白井 克彦 早稲田大学 総長
沖永 佳史 帝京大学 理事長・学長
小畑 秀文 国立大学法人東京農工大学 学長
北原 保雄 独立行政法人日本学生支援機構 理事長

なお、今限りで退任となる理事は次の通りである。

北原 保雄 独立行政法人日本学生支援機構 理事長
村上 光一 ㈱フジテレビジョン 相談役
相澤 益男 東京工業大学 学長
平林 千牧 法政大学 総長

評議員

1. 学識経験者

石川 和昭 八王子市教育委員会 教育長
上野 淳 首都大学東京基礎教育センター センター長
宇野 重昭 島根県立大学 理事長・学長
勝又 美智雄 国際教養大学 教授・図書館長
小磯 明 東京都議会 議員
佐野 博敏 学校法人大妻学院 理事長
篠田 節子 作家
高石 道明 創造学園大学国際交流センター 教授・センター所長
高原 明生 東京大学大学院法学政治学研究科 教授
田辺 隆一郎 八王子商工会議所 会頭
中兼 和津次 青山学院大学 教授
福田 一郎 東京女子大学 名誉教授
三宅 彰 国際基督教大学 名誉教授
村上 光一 ㈱フジテレビジョン 相談役
村田 雄二郎 東京大学大学院総合文化研究科 教授

2. 会員校代表

伊藤 定良 青山学院大学 学長
大場 幸夫 大妻女子大学 学長
郷 通子 お茶の水女子大学 学長
福井 憲彦 学習院大学 学長
木村 利人 恵泉女学園大学 学長
三浦 宏文 工学院大学 学長
中嶋 嶺雄 国際教養大学 理事長・学長
池田 練太郎 駒澤大学 学長
上井 喜彦 埼玉大学 学長
大井 孝 財団法人国際教育振興会 理事長
柘植 綾夫 芝浦工業大学 学長
西澤 潤一 首都大学東京 学長
木南 英紀 順天堂大学 学長
石澤 良昭 上智大学 学長
佐野 ぬい 女子美術大学 学長
汐見 稔幸 白梅学園短期大学 学長
栗田 恵輔 成蹊大学 学長
寺中 平治 聖心女子大学 学長
山本 英夫 創価大学 学長
島田 晴雄 千葉商科大学 学長
齋藤 康 千葉大学 学長
岩崎 洋一 筑波大学 学長
梶谷 誠 電気通信大学 学長
大山 喬史 東京医科歯科大学 学長
亀山 郁夫 東京外国語大学 学長

久木田 重和	東京経済大学	学長
軽部 征夫	東京工科大学	学長
水谷 惟恭	東京工業高等専門学校	校長
伊賀 健一	東京工業大学	学長
若尾 真一郎	東京工芸大学	学長
湊 晶子	東京女子大学	学長
大澤 貫寿	東京農業大学	学長
竹内 伸	東京理科大学	学長
鮑戸 弘	東洋英和女学院大学	学長
松尾 友矩	東洋大学	学長
小嶋 勝衛	日本大学	総長・理事長
五百旗頭 真	防衛大学校	学長
井上 博行	町田学園 町田・アザイン専門学校	理事長
中村 英夫	武蔵工業大学	学長
平林 和幸	武蔵大学	学長
納谷 廣美	明治大学	学長
小川 哲生	明星大学	学長
山崎 薫	ヤマザキ動物看護短期大学	学長
飯田 嘉宏	横浜国立大学	学長
鈴木 了二	早稲田大学芸術学校	校長

なお、今期限りで退任となる評議員は次の通りである。

渡里 杉一郎	(株)東芝	相談役
渡邊 啓貴	東京外国語大学	教授
相磯 秀夫	東京工科大学	学長
三木 千壽	東京工業大学	副学長
池端 雪浦	東京外国語大学	学長
氏原 淳一	明星大学	学長
小川 秀興	順天堂大学	学長
古在 豊樹	千葉大学	学長
小林 信行	東京工芸大学	学長
鈴木 章夫	東京医科歯科大学	学長
永田 良昭	学習院大学	学長
平田 賢	芝浦工業大学	学長
益田 隆司	電気通信大学	学長
無藤 隆	白梅学園短期大学	学長
武藤 元昭	青山学院大学	学長
村上 勝彦	東京経済大学	学長
檜崎 彰男	八王子商工会議所	会頭
田隅 三生	埼玉大学	学長
中村 経紀	ヤマザキ動物看護短期大学	学長

平成20年度第1回常務理事会

実施日：平成20年5月22日（木）
場 所：アルカディア市ヶ谷（私学会館）

（出席者） 佐藤東洋土理事長はじめ常務理事7名

（主な議事）

第118回理事会と第95回評議員会への上程議題や、事務局からの報告事項の中の主要な項目について協議いたしました。

1. 「平成19年度事業報告」について
2. 「平成19年度一般会計収支決算」について
3. 次期の評議員及び理事等役員を選任について
4. 業務報告について
5. その他

平成20年度第2回常務理事会

実施日：平成20年9月12日（金）
場 所：大学セミナーハウス交友館B

（出席者） 佐藤東洋土理事長はじめ常務理事8名、監事3名。

（主な議事）

施設・設備の改善・改修状況を見学した後、次のような議題で協議を行いました。

1. 業務報告（利用状況、主催セミナー実施状況、施設整備計画、文部科学省の実地検査の指摘事項の改善 など）
2. 協議事項
 - ①当法人の事業運営について
 - ・常務理事の職務分担について
 - ・長江師範学院の海外準協会会員校への加入について
 - ②新公益法人制度への移行に伴う当法人の対応について
 - ③役員等の費用弁償に関する規程制定について

常務理事の職務分担

氏名	担当職務
奥島 孝康	総括・運営全般担当
後藤 祥子	セミナー担当
佐藤 保	セミナー担当
鈴木 典比古	財務担当
鈴木 康司	事業計画担当
程島 俊介	セミナー担当
鷺山 恭彦	セミナー担当

第6回運営幹事会

実施日：平成20年8月25日
場 所：大学セミナーハウス交友館

（出席者） 運営幹事10名。代理出席2名。（総員15名）

平成19年5月に発足した「運営幹事会」は5回の会議を開催し、「利用者の立場からの事業計画の策定」「利用促進」「施設整備」等に多くの建設的なご提言をいただいたが、このたび、平成20年6月30日で任期満了となった。

平成20年7月1日からは2年間の任期で新しいメンバーを迎えて運営幹事会を開催することとなり、「新運営幹事」のもと「第6回運営幹事会」を次の通り開催いたしました。

1. 新運営幹事

所属	氏名	役職
青山学院大学	藪田 洋	学務部教務課長
桜美林大学	本郷 優紀子	総合研究機構事務局長
慶應義塾大学	栗生 賢一郎	塾員センター課長
国際基督教大学	中村 正子	事務局長
駒澤大学	小林 清次郎	総務部長
首都大学東京	加藤 洋子	管理部教務課長
中央大学	野口 哲朗	学生部事務長
帝京大学	船坂 則夫	本部事務長
東京学芸大学	笠井 俊秀	学務部長
東京大学	矢野 由美	本部統括長(教育・学生支援系)
日本女子大学	黒田 文子	学務部研究支援課長
東京農工大学	小山 晴己	総括チームリーダー(総務担当)
法政大学	近藤 清之	学生センター事務次長
立教大学	山下 恭弘	立教学院総務部副部長
早稲田大学	佐藤 亨	学生部事務部長

2. 第6回運営幹事会議事内容

1. 施設見学
2. 館長挨拶

雨の中の施設見学、ご苦勞様でした。利用者からは「さくら館」の希望が多いが、構内の全ての施設について「浴室」「トイレ」など不自由なくご利用いただけるように改善・増設を行った。新しい運営幹事の皆様にも引き続き忌憚のないご意見・ご提言をよろしく願いたい。

3. 議事内容

利用促進活動（訪問計画・PR方法など）、主催事業（セミナーの企画・実施など）施設改善 等に関して多くのご提言をいただきました。

会費をありがとうございました

平成20年4月～9月

(敬称略)

尾田綾子、柳堀素雅子、松澤通生、田中喜久昭、池原義郎、藤井弥太郎、鳥海保子、塩谷惇子、檜田信男、林 肇、海老根宏、奥島孝康、橋口英俊、加藤秀俊、金子六郎、本明 寛、瀬戸岡 紘、竹前文夫、水野弘文、柏原啓一、下森 定、芳賀 徹、長谷川幸男、加藤晴久、飯田修一、椿 弘次、澤島侑子、奥山典生、中嶋嶺雄、荒井 猷、上野芳康、福島 明、荒井 基、朝野洋一、西澤宗英、安宅光雄、川添利幸、吉原健吾、竹内喜代司、古畑和孝、本江哲郎、小倉充夫、今堀和友、中村幸安、松尾浩也、水谷眞智子、金子 晃、大内 力、白井久和、宅間 宏、中野スミ子、石川信男、黒田道雄、常行敏夫、三橋文雄、吉田幸弘、宮川 彰、入江和生、柴田勇造、慶谷伸代、中村浩三、藤原鎮男、松島 恵、金谷憲一、橋本 智、厚東偉介、古本捷治、中山勝博、柏木恵子、田島恵児、宮本瑞夫、高橋公雄、築田長世、三宅 彰、小川信子、松瀬貞規、原島幸太郎、広内哲夫、川原啓美、稲田 拓、新井勝紘、藤田淑子、海老沢克之、松山正男、米村貞蔵、得田保雄、山本武彦、鈴木一道、荻原洋太郎、吉田美穂子、荒川由美子、宮野三郎、岡岡昭夫、村田光二、小池 滋、志賀 英、山田耕司、岡村文子、田中弥寿雄、佐藤東洋士、八幡義博、栗原 裕、林 勲、五十嵐 香、岩崎征人、朽津耕三、村上陽一郎、長内 了、栗原尚子、並河一道、野崎昭弘、滝口 亨、末松安晴、東壽太郎、関口利男、松尾秀雄、小堀桂一郎、井手久登、桐原五十鈴、柴田 誠、中山光雄、仙田 哲、太幡祐己、篠崎啓助、瀬田裕司

会員からのメッセージ

- ◆アインシュタイン・ニュートンの業績を超える飯田物理学が成立し、物理学に於ける金メダルの業績が達成されました。併し、物理学会、学術会議、報道機関等が機能せず、国民は知らない状況です。大学セミナーハウスはその機能を果たしてください。飯田修一
- ◆今年も無事に誕生日を迎えられそうです。満79歳になりました。学生達と討論しあった八王子の森を思い出しております。澤島侑子
- ◆貴ハウスのご活動に敬意を表し、かつ多大の期待を持っております。よろしく。福島 明
- ◆いつもお心にかけていただき、有難うございます。貴セミナーハウスのご前途に祝福をお祈り申し上げます。荒井 基
- ◆ご無沙汰しております。結婚して子どもができており、家計と自分の小遣いを整理して、大学時代世話になったサークル、集いのお金を大幅にカットしてきましたが、40近くなり、少しでも社会貢献をと、徐々に復活させてきているところです。小額ですが、お納め致します。吉原健吾
- ◆私こと、本年3月末日をもって帝京大学（文学部教授）を退職いたしました。「インターネットにおけるコミュニケーション考—SNSミクシにおける一事例を通して—」という小論を執筆いたしました。古畑和孝
- ◆業績も順調に回復している様子、大変嬉しく思っています。ハウスの皆さんのご努力に心から敬意を表します。本江哲郎
- ◆このたびは誕生祝のカードを有難うございました。厚く御礼申し上げます。貴ハウスもますますご発展のご様子何よりと存じます。橋谷卓成
- ◆昨年、千人会に入会しました。27年も前に、故KS教授に引率されて大学セミナーハウスに一度だけ滞在した大学生の一人です。3年前にふとしたきっかけでこの地を“再発見”し、以

- 来年1回ずつ、学部生と院生を連れて研究室合宿を行いました。典型的な理工系教員の私の眼から見ても、この施設は、学会出張で学生と一緒に利用する“ビジネス”ホテル、学生の研修に使う旅館、大学所有の合宿施設には決して無い、独特なアカデミックな環境が有り、対話と交流を育んだ歴史を持つ、とても貴重な宿泊合宿施設と感じています。一方の私の大学生たちは（失礼ながら）とりたてて特別なモノが無いじゃないか、物足りないなあと感じがちな様子です。普段の仲間が日常から離れて特別な2日間を過ごし、自分たちの中からこそ新しい出会いや新しい考えを発見するというのを、私が学生たちに期待しているようです。観光地やホテル・旅館よりも現八王子セミナーハウスが優れていると感じ続けている所以です。2回目の今年は、やや古い長期館も利用してみました。長期館の独特な造りが、新しくて立派なさくら館と同じくらいに、私の学生たちには好評だった様子です。今後次第に、大学の垣根を超える学生と学生との出会いや交流にも、異分野の教員と教員の偶然の出会いにも、期待しています。これからもどうぞよろしく願います。上野芳康
- ◆ハウスのますますの発展をお祈りします。黒田道雄
- ◆94歳の誕生日レター、有難うございました。その前、大病で入院し、九死に一生の命拾いをしました。退院後は生活を改め、ご神仏のご加護を受け、長寿を完了したいと考えております。花に添え、会費をお送りし、ハウスの益々のご充実ご発展をお祈りいたします。三橋文雄
- ◆82歳の誕生日をむかえました。こんなに長生きできるとは思っていませんでした。吉田幸弘
- ◆御無沙汰しております。近いうちに学生たちをひき連れてお世話になります。宮川 彰

- ◆今年も元気で誕生日を迎えることができました。大学セミナーハウスの益々のご発展をお祈りいたします。松島 恵
- ◆お誕生日カード、誠にありがとうございます。セミナーハウスのますますの御発展を祈ります。厚東偉介
- ◆お陰様で、今年で85歳になりました。しかし、今年は後期高齢者に入れられてしまいましたので喜んでばかりおられません。田島恵児
- ◆猛暑の日々、皆様には、夏のセミナーに御活躍の事と存じます。かつて木陰で熱く語ったことをなつかしく思い出しています。ますますの御発展をお祈り致します。小川信子
- ◆85歳になりました。毎日の散歩も努力しないとむずかしいのでなんとか続けたいと思います。原島幸太郎
- ◆このところ一年がとても早く感じられます。最近私のゼミに所属する学生と、戦場から銃後に送られた手紙「軍事郵便」を一緒に読んで、一人の兵士の戦争体験から戦争を考えようとしています。新井勝紘
- ◆セミナーハウスの御発展をお祈り申し上げます。松山正男
- ◆誕生日カード有難うございました。79歳になりました。昨年は地元町会の総務部長、今年は相談役として地域の人々と心の触れ合いを楽しんでいます。米村 貞蔵
- ◆大学セミナー・ハウスの益々の発展を祈ります。得田保雄
- ◆残暑まだまだお暑い毎日ですが、当方向とかやっています。ますますのご発展を祈念しています。志賀 英
- ◆こしばらくご無沙汰しておりますが、諸活動や拡充のニュースをたいへんうれしく思っております。栗原 裕
- ◆72歳になりました。自覚は余りないのですが、端から見れば随分年寄りなのでせうね。まだ暫く必要とされているらしいので、しっかりせねばと思っています。村上陽一郎

ご利用ありがとうございました (平成20年4月～9月)

* = 同月2回利用
** = 同月3回以上利用
日帰り利用はグループ数のみ
(延べ人数には日帰り利用は含まず)
○ 新入生オリエンテーション
敬称略

■4月(56グループ、延3,434人)

明治大学 大胡 修
明星大学 星山麻木
電気通信大学 阿部公輝
首都大学東京教育学研究室
埼玉大学 福岡安則
東京農工大学環境教育学研究室
首都大学東京都市教養学部歴史・考古学研究室
慶應義塾大学 井上英之
○ 首都大学東京「寮」
東京経済大学21世紀教養プログラム
○ 中央大学心理学研究室
お茶の水女子大学文教育学部グローバル文化学環
桜美林大学孔子学院
○ 青山学院大学理工学部
東京学芸大学家庭科
○ 首都大学東京物理学コース
○ 首都大学東京機械工学コース
○ 東洋大学社会福祉学科
○ 東洋大学社会文化システム学科
○ 東京学芸大学生涯学習専攻
創価大学 戸田龍樹
○ 東京農工大学環境資源学科
早稲田大学芸術学校
明星大学教育学部
日本大学 辻 忠博
東京大学 山本正幸
○ 白梅学園短期大学保育科
日本大学 三井 泉
青山学院女子短期大学 輪島達郎
国際物理オリンピック代表候補者合宿
福島県西郷中学校
明治学院大学 水谷史男
亜細亜大学 二瓶喜博
○ 国際短期大学
○ 横浜創英短期大学
○ 駒沢女子大学基礎ゼミ
○ 東京都立東村山高等学校
杏林大学 千葉 洋
○ 実践女子大学生活文化学科
(株)アド
(株)ジャンプリントシステムズ
(株)タナベ経営
(株)魚力
(株)オーネックス
フレッシュMDホールディングス(株)
混声合唱団うたの森
自費出版ネットワーク
アイダエンジニアリング(株)
(株)スリーボンド
トヨタ西東京カローラ(株)
ムサシノアロー(株)
個人利用
大妻女子大学 長谷川純子
日帰り利用
○ 中央大学独文学専攻
日本共産党八王子市議団
エコ・ネットワーク八王子*
ツリーマスター・クライミングアカデミー

■5月(59グループ、延3,927人)

アイセック明治大学委員会
駒澤大学 藤本 茂
中央大学白門会
○ 創価大学ロシア語専攻

慶應義塾大学弁論部
東京学芸大学 鴨川 仁
学習院大学シェイクスピアソサエティ
中央大学ポピュラーソング研究会
○ 明星大学教育学部フレッシュマンキャンパ
電気通信大学 上野芳康
明治大学 本所靖博
桜美林大学 大木昭男
○ 明星大学造形芸術学部プロダクトデザイン
中央大学証券研究会
桜美林大学国際交流センター
○ 首都大学東京システムデザイン学部
中央大学商法研究会
立教大学 郭 洋春
東京学芸大学人間福祉課程総合社会システ
ム専攻生活福祉分野
法政大学 山本 茂
○ 東京農工大学有機材料化学科
中央大学英語学会
武蔵工業大学教職課程
早稲田大学 河西宏祐
東京大学バンフィカス
駒澤大学 富崎 隆
首都大学東京地理学教室
首都大学東京教育学部総合ゼミ
首都大学東京FD・SD宿泊セミナー
○ 東京学芸大学表現コミュニケーション専攻
○ 明星大学環境システム学科
北里大学保健衛生専門学院
地球市民アカデミア
静岡県立藤枝西高等学校野球部
日本ショーベンハウア協会
東京都立新島高等学校
静岡県立大井川高等学校野球部
八代工業高等専門学校土木建築工学科
電子スピサイエンス研究センター
和光大学 林真一郎
中京高等学校野球部
運動学習研究会
第29回日豪合同セミナー
アライド
国立キリスト教会
(株)コンベンションリンクエジ
フェイスフィルハーモニー管弦楽団
日本ハウスケア協会
(株)スリーボンド*
(株)ノジマ
ツリーマスター・クライミングアカデミー
大東建託(株)*
南大沢フィルハーモニー
日本分光(株)
(株)いなげや
富士アイティ(株)
混声合唱団ブルーメンクランツ
日帰り利用
エコ・ネットワーク八王子
ATACCANTI
■6月(43グループ、延1,746人)
早稲田大学 毛里和子
東京工業大学藤井正明・東京理科大学築山光一合同
明星大学 深澤 清
駒澤大学合唱団
東京大学 村田雄二郎
東京工科大学 (ES工房)
法政大学 陣内秀信
東京工業大学 木嶋恭一
日本大学ラグビーサークル
中央大学国際関係研究会
法政大学 小椋正立
青山学院大学 井川 肇
法政大学フライハイト
東京学芸大学国際教育
国際基督教大学臨床心理学ゼミ
立教大学 上田 信

生化学若い研究者の会
第4回大学コミュニケーション力養成セミナー
帝京科学大学 小川家資
第9回「世界とアメリカ」セミナー
智辯学園高等学校野球部
長江師範学院
日本女子大学附属高等学校
日本中東学生会議
アイセックジャパン
サイバーシルクロード八王子
(株)生活科学運営
(株)アーバンコミュニケーションズ
トヨタ西東京カローラ(株)
(株)いなげや*
国税労働組合総連合
(株)生活科学運営
(財)日本自然保護協会
日本社会臨床学会
日本ハウスケア協会
ツリーマスター・クライミングアカデミー
(株)エコス
(株)キーバインド
個人利用
電気通信大学 上野芳康
中央大学 島村直幸
中央大学 姜 英敏
日帰り利用
帝京大学 郷 健治*
(株)宝島社 インレット編集部
■7月(89グループ、延2,427人)
独立行政法人国立高等専門学校機構
首都大学東京 児島 晃
首都大学東京 森 泰親
早稲田大学 河西宏祐
明星大学小貫悟・早稲田大学菅野純合同ゼミ
明治大学 郝 燕書
中央大学 横湯園子
武蔵工業大学 皆川 勝
国際基督教大学教養学部
明星大学 渡邊幸夫
日本大学 古川壮一
駒澤大学 各務洋子
首都大学東京ヒューマンメカトロニクスシステムコース
帝京大学医学部事務部
早稲田大学 安在邦夫
東京農工大学国際環境農学専攻
首都大学東京「人間と社会」研究会
東京学芸大学アジア研究専攻
駒澤大学 茨木博子
駒澤大学 村井良太
東京大学 武市正人
中央大学通信教育部
日本大学 小川宗一
早稲田大学建築学科2年
第36期十大学合同セミナー
江戸川区立二之江中学校
東京純心女子大学英語合宿
生物物理夏の学校
東京都立東村山高等学校
東京都立田柄高等学校
日本女子体育大学附属二階堂高等学校
神奈川県立上溝高等学校クラシックギター部
中国青年代表団合宿セミナー
拝島第二小学校FC
実践女子短期大学 藪田碩哉
東京都立成瀬高等学校茶道部
東京都立南多摩高等学校英会話合宿
ICSカレッジオブアーツ
第19回大学職員セミナー
第1回教員免許更新講習
和光大学 林真一郎
数学研究クラブ
三重県立松坂商業高等学校野球部
(株)いなげや*

ご利用状況

日本赤十字社神奈川県支部
株式会社オザムレジャー事業部
東芝ITサービス株式会社ITサポート部
ラフターヨガ・ジャパン
国立極地研究所
合唱団ひぐらし
KSDマンドリンアンサンブル
高橋聖書集会ヨシユア会
ぶどうの樹キリスト教会
大久保集会
プロセスワーク研究会
文学教育研究者集団
町田クリスチャンセンター
日本ハウスクエア協会
東京大学OB石井ゼミ

個人利用

中央大学 島村 直幸**
中央大学 前田知也

日帰り利用

帝京大学 郷 健治
デザイン研究会
有賀音楽サークル
FIGAROjapon編集部
(有)トワグラフ
ソリーマスター・クライミングアカデミー
駒澤女子大学弥久保ゼミ
中高生聖書講座

8月(118グループ、延5,365人)

東京工業大学 吉田尚弘
早稲田大学スポーツ科学科
中央大学長谷川ゼミナール
お茶の水女子大学 三輪建二
明星大学 竹内康二
中央大学会計学研究会
早稲田大学 東 基衛
早稲田大学 小林富久子
東京学芸大学 倉持伸江
東洋英和女学院大学 篠原道夫
大妻女子大学 松本寿昭
駒澤大学 高田知波
日本大学 設楽裕文
明治大学軍縮平和研究所
桜美林大学 穂田照子
東京理科大学大澤ゼミ
千葉商科大学体育会本部
東京工業大学合唱部
早稲田大学建築展
立教大学 武藤 祥
国立高等専門学校機構
電気通信大学 樽井 武
慶應義塾大学 高橋正子
早稲田大学ロシア語劇団コンツェルト
慶應義塾大学英語会
女子美術大学付属高等学校・中学校
首都大学東京経営システムデザインコース
東京大学環境三四郎
中央大学スポーツ新聞部
立教大学鈴木ゼミナール
東京大学手話学グループ
首都大学東京 河野有理
国際基督教大学ディベーターインクソサエティ
東洋大学 館 幸嗣
首都大学東京 乾 彰夫
学習院大学 渡邊匡人
芝浦工業大学電子計算研究会
中央大学通信教育部
明星大学 境 敦史
東京工芸大学メディア画像学科
日本大学 伊坂裕子
駒澤大学 向田正巳
横浜国立大学FD合宿研修会
武蔵工業大学 森木一紀
創価大学 村上克美
青山学院大学 茂 牧人

埼玉大学 福岡安則
明治大学 川嶋周一
東京工科大学 毛塚博史
首都大学東京 岡部 卓
明星大学 塚田紘一
東京学芸大学声楽科
成蹊大学 奥野昌宏
明星大学 菊地滋夫
法政大学 八名和夫
東京大学 内宮博文
青山学院大学E・S・S
法政大学 八幡成美
東京学芸大学 金谷 憲
桜美林大学 高橋真義
地球人図鑑プロジェクト(慶應義塾大学)
東京学芸大学環境科学分野
明治大学 石津としえ
杏林大学英語研修*
一橋大学 尾畑 裕
ブルーファイターズ
スタディスタジオ(有)教夢
生化学若い研究者の会
(財)日本科学技術新興財団
(サマーサイエンスキャンプ2008)

生命の起源及び進化

めじろ台ホークス
日中学生会議
佼成学園数学研究部
杉並ジュニア混声合唱団
東京聖栄大学 岡田 弘
関東学園大学附属高等学校野球部
千葉工業大学 遠藤政樹
明星大学どろんこの会
フェルテ
中医学ネットワーク
千葉県立君津高等学校
応用物理教育分科会
明神フェニックスFC
東海大学 岩岡竜夫
津田塾大学英語会ディベートセクション
渋谷教育学園渋谷高等学校理科部
東京神学大学夜間神学講座
全人的医療を考える会
東京都立東久留米総合高等学校
制御工学夏の学校
(有)ドリムスタディ
共栄大学公認会計士講座
めじろ台ファイターズ
日本キリスト教団立川教会
国立市教育委員会
文学教育研究者集団
武蔵野外語専門学校
日本赤十字社神奈川県支部中学生
日本赤十字社神奈川県支部指導者研修
日本赤十字社神奈川県支部高校生
現代と経済
AITC
(株)ティラノ
アロハアースエヌエフラボリネシアン
多摩教育事務所西多摩支所
トヨタ西東京カラー(株)
(社)国際商事法研究所
経営21研究会
日本友和会
調布「憲法ひろば」
株式会社オザムレジャー事業部
カウンセリング研究会
日本余暇学会
日本赤十字社青年団リーダー
日独交流演奏会
個人利用
中央大学 島村直幸**
明星大学スクーリング生
中央大学 山口晃次

日帰り利用

(株)ベルデザイン
映像製作会社ジョーロロジャー

9月(122グループ、延4,268人)

立教大学 富安敬二
国際基督教大学 藤田英典
青山学院大学 スティーブンギブンス
帝京大学ELS研究会
桜美林大学マルチメディア研究会
東洋大学社会科学研究会
アイセック中央大学委員会
日本女子大学 坂田 仰
東京工科大学吹奏楽団
日本大学短期大学部建設学科
帝京大学企業就職チャレンジゼミ
日本大学 広田照幸
青山学院大学 木村松雄
立教大学 鈴木理江子
立教大学 福山清蔵
東洋大学 太矢一彦
駒澤大学 山田信行
上智大学 鷺田豊明
首都大学東京 江原由美子*
東京農工大学 千賀裕太郎
大妻女子大学 小谷 敏
日本大学 岡島芳伸
東京農工大学 梅田倫弘
法政大学 湯川 新
明治大学 中邨 章
東京女子大学 鈴木恒之
明星大学 吉川かおり
東洋大学 稲生信男
電気通信大学 寺田 実
日本大学 神尾真知子
東洋英和女学院大学 吉川健治
恵泉女学院大学 藤田 智
日本大学 倉島 隆
青山学院大学 橋田正造
恵泉女学院大学ハンドベルクワイア
桜美林大学 奥野克巳
芝浦工業大学工学部建築工学科
青山学院大学 白井邦彦*
駒澤大学合同ワークショップ
明治大学科学技術英語ワークショップ
千葉大学 中村勝洋
東洋英和女学院大学心理学研究Seele
立教大学 芳賀 繁
明治大学 竹村正明
法政大学 伊藤達也
慶應義塾大学 長尾真理
日本大学 豊福健太
明治大学雄弁部
明治大学 小林尚朗
明治大学 小保内弘子
法政大学 山本 茂
東洋大学 本多 勇
法政大学 増田正人
東京工業大学 渡部卓雄
早稲田大学 堀口健治
早稲田大学芸術学校
アイセック明治大学委員会
東京女子大学 中村真人
アイセック慶應湘南藤沢委員会
首都大学東京大学情報研究会
早稲田大学 西郷 浩
中央大学 田中素香
首都大学東京 渡辺欣雄
KBC実行委員会
東京女子大学 古沢希代子
早稲田大学 田口尚志
東洋大学 川瀬晃弘
中央大学 木下徳明
首都大学東京 大山修一
大妻女子大学 鄭 暎蕙

日本女子大学大学院人間社会学部心理学科
 東洋大学 藤井敏信
 首都大学東京「寮」
 首都大学東京大学院哲学科
 東京外国語大学 鈴木 茂
 東洋大学 藤林慶子
 東京外国語大学 丹羽 泉
 東京農工大学 仁藤 修
 日本第二言語習得学会
 あしなが育英会
 第30回国際学生シンポジウム運営委員会
 第5回大学人コミュニケーション力養成セミナー
 秀明大学 山口桂子
 高千穂大学 大島久幸
 専修大学 原田博夫
 南八王子サッカークラブジュニアユース
 目白大学 竹前文夫
 鶴見大学 長塚 隆

帝京科学大学 木村龍平
 玉川大学 平高典子
 玉川大学 藤田裕二
 群馬工業高等専門学校
 第19回大学職員セミナー
 日本地球化学会若手会
 立正大学 板橋勇仁
 目白大学 船越知行
 第49回大学教員セミナー
 一橋大学 倉田良樹
 都留文科大学 東由美子
 共立女子大学 平石妙子
 東京薬科大学キャンパス
 第35回国際学生セミナー
 稲城教会
 トヨタ西東京カローラ(株)
 (株)オザムレジャー事業部*
 数論セミナー

九州大学コールアカデミーOB会
 アライド
 学科製図.com
 (株)生活科学運営
 地球市民アカデミア
 インターハート人間教育研究会
 岸田カウンセリング研究所
 日本基督教団林間つさみ野教会
 キリストの教会伝道学院
 話し方勉強会
 全農関東生活事業所
 相模原フィルハーモニー管弦楽団
 (有)デボル
 (有)日帰り利用
 ニューシネマワークショップ
 積水ハウス(株)
 (有)エス・フィールド
 日本女子大学片山ゼミ

2008年度 開催セミナー報告

セミナー名	日程	テーマ	講師	参加者数
第1回FD研究会	08/5/10	FD担当者に何がもとめられているか?	佐藤浩章(愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室准教授) 椎木 健(法政大学FD推進センター主任) 梅田倫弘(東京農工大学大学教育センター長)	62
第4回 大学人コミュニケーション力 養成セミナー	08/6/13 ~14	個性輝く大学創りをプロデュースする …大学を元気にするコミュニケーション力とプレゼンテーション力…	高橋真義(桜美林大学大学院大学アドミニストレーション研究科教授)	17
第5回 大学人コミュニケーション力 養成セミナー	08/9/5 ~6	個性輝く大学創りをプロデュースする	高橋真義(桜美林大学大学院大学アドミニストレーション研究科教授)	18
第19回大学職員セミナー (3回シリーズ)	08/7/11 ~12	第I回 改めて総合的支援体制のあり方と職員の役割を問う	夏目達也(名古屋大学高等教育センター教授) 村田善則(文部科学省高等教育局学生支援課長)	36
	08/9/19 ~20	第II回 FDとSD、教員と職員の連携を通して、職員の役割を問う	山本真一(広島大学高等教育研究開発センター長・教授) 小松親次郎(文部科学省人事課長)	
第49回大学教員セミナー	08/9/22 ~23	学力を考える …中教審答申への対応…	黒田壽二(金沢工業大学総長) 鈴木敏之(東京大学本部統括長、前文部科学省高等教育局企画官) 安岡高志(立命館大学教育開発推進機構教授) 小杉礼子(労働政策研究・研究機構統括研究員)	57
第35回国際学生セミナー	08/9/27 ~28	文化的多様性と現代社会 …民族や宗教の対立を超えて…	小倉和夫(独立行政法人国際交流基金理事長・前青山学院大学教授・元駐仏大使) 武内進一(日本貿易振興機構アジア経済研究所主任研究員) 能登路雅子(東京大学大学院総合文化研究科教授) 長谷川秀樹(横浜国立大学教育人間科学部准教授) 岩崎育夫(拓殖大学国際学部教授) 平野 聡(東京大学大学院法学政治学研究所准教授)	47
第2回国際教養セミナー	08/10/4 ~5	イスラーム世界における「他者」との共生 …宗教・宗派・民族の相違を超えて…	大塚和夫(東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所教授) 八尾師誠(東京外国語大学外国語学部教授) 酒井啓子(東京外国語大学大学院地域文化研究科教授) 西井啓子(東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所准教授) 飯塚正人(東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所教授)	53
第1回教員免許更新講習	08/7/28 ~31	「教育の最新事情に関する事項」12時間(必修)「教科指導、生徒指導その他教育の充実に関する事項」18時間(選択)	安田忠郎(元武蔵工業大学工学部長) 鹿毛雅治(慶應義塾大学教職課程センター教授) 五十嵐勲(早稲田大学大学院教職研究科客員教授) 扇 浩治(武蔵工業大学教職課程非常勤講師) 山内芳文(大学評価・学位授与機構教授)	120

2008年度後期 開催セミナー

セミナー名	日程	テーマ
第2回国際教養セミナー	08/10/4(土)~5(日)	イスラーム世界における「他者」との共生 …宗教・宗派・民族の相違を超えて…
第5回古代史セミナー	08/11/8(土)~9(日)	日本古代史 新考 自由自在 …古田武彦先生を囲んで…
第19回大学職員セミナー (3回シリーズ)	08/11/14(金)~15(土)	第Ⅲ回 地域協力と国際化戦略、それぞれの大学における現状を通して、職員の役割を問う
第3回FDセミナー	08/12/12(金)	ティーチング・ポートフォリオって何だろう?
第50回大学教員セミナー	09/3/2(月)~3(火)	徹底討論 …学士力を考える(予定)…
第6回 大学人コミュニケーション力 養成セミナー	09/3/6(金)~7(土)	個性輝く大学創りをプロデュースする

☆詳細が決定次第、ホームページでご案内致します <http://www.seminarhouse.or.jp>

☆セミナーに関するお問合せ・お申し込み

TEL.042-676-8532 FAX.042-676-1220 E-Mail:kikaku-koho@seminarhouse.or.jp

メールマガジンを週1回発行しております。ご希望の方は上記メールアドレスにてお申込下さい。

○寄贈図書ほか (2008年4月~2008年9月)

「前田護郎選集3 真理愛の拠点」	上田明子
「前田護郎選集4 希望の福音」	上田明子
「およそ真なること 平和への祈り」	根岸愛子
「早稲田法学 第83巻 第4号」	早稲田大学法学会
「昭和モダン建築巡礼(東日本編)」	日経BP社
「はちおうじの 教育統計」	八王子市教育委員会
「比治山高等教育研究 第1号」	比治山高等教育研究所
「やさい歳時記」	藤田 智

「蝶標本」(一箱)

横関 丹



館長室から 学士力

今年は真夏日が随分長く続き、いつまでも蝉が鳴き続けていると思っていたら、いつのまにか金木犀が匂い始めた。北国の山には初雪が降り、富士山でも初冠雪が見られた。因みに、気象庁による「初雪」の定義は「その年の最高気温が出た日以降に最初に降った雪」のはずだが、改めて気象庁のホームページを覗いてみたら「寒候期(10月から3月まで)がきて初めて降る雪、霽でも良い」となっている。

夏の間はシャワーで済ませていた人も、「あずましい」湯っこに入りたいと思う季節になった。セミナーハウスでは、松下館と記念館にユニットバスを設置したが、大きな湯船で温まりたいという御要望にお応えすべく、交友館の「大浴場」を改修した。温泉でないのが残念であるが、足を伸ばして湯船に浸かり、セミナーの疲れをほぐして頂ければ幸いである。

大学を卒業すれば「学士」の学位が授与される。「学士の品質保証期間はせいぜい3年、長くて5年」というのは蓮實重彦元東大総長の卒業式告辞における言葉であるが、昨今では出荷時点の品質が疑われる「学士」が出回っている。中央教育審議会大学分科会では1年半を超える精力的な議論を経て、「学士課程教育の構築に向けて」と題する答申を纏めた。そこでは、学士課程の教育を実質化し「学士力」を身に付けさせるためには何を為すべきかが論じられている。我が国は世界でも自動販売機が普及している国であるが、「学士号の自動販売機」の設置は断じて排除しなければならない。

館長 荻上 紘一



Plain living and high thinking

制編発 発
作集行人 セ
||八王 行
|子 財 行
アトリエ 団 2008年11月発行
イ ー 法 人 大 学 セ ミ ナ ー ハ ウ ス
の セ ミ ナ ー ハ ウ ス 企 画 広 報 課 No.175